

令和7年度
事業実施計画書

新潟市南区社会福祉協議会

令和7年度南区社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

3年を超えるコロナ禍、また令和6年1月の能登半島地震など災害の頻発により、地域生活課題は多様化・複雑化し、さらには孤独・孤立、生活困窮などの諸問題が浮き彫りになっています。こうした中、平時からの住民や関係機関とのさらなるネットワークの構築やそこに住む人同士の主体的な活動による生活課題を抱えた方の発見や見守り支援などが必要とされています。

南区社会福祉協議会は、地域住民から寄せられるあらゆる相談を受け止め、従来の福祉の枠組みでは対応が困難な課題に対し、解決のための支援やしくみづくりに向けて世代や分野を超えてつながり、地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域と共に創っていく「地域共生社会」の実現に向け、幅広い人々との連携を強化しながら地域の福祉課題の解決への取り組みを行います。

具体的には、8050問題やひきこもり、孤立の問題や生活困窮の方の支援や子育て支援、また支え合いのしくみづくりの推進等について、地域コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会、民生委員児童委員やボランティア・NPO団体、多様な関係団体・機関や企業、行政と連携しながらその解決や予防に向けて取り組みます。

また、南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）3期計画について、行政と一体となりさらなる計画の推進を図ります。併せて、「支えあい、ともに笑顔で暮らすまち『にいがた』」を目指し、新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021を推進します。

【重点事業】

○コミュニティソーシャルワーク推進事業

地域住民から寄せられる地域課題や個別課題の相談を受け、民生委員児童委員や関係機関などと地域住民が連携しながら協働していく中で、特に喫緊の課題となっている高齢者や障がい者の移動支援及び8050問題、ひきこもりについて、地域住民の意識啓発と関係機関との協働により支援の在り方を探りながら解決に向けた取り組みを行う。また、コロナ禍の影響や物価高騰等により生活に困窮している世帯に対し、食料支援を行い、個別支援につなげる。

- ・ひきこもりをテーマとした関係機関による支援連絡会の開催及び家族の居場所、当事者の居場所の開催
- ・貧困の連鎖を断ち切るためのライフスキル習得ツールのバージョンアップと効果的な活用
- ・生活困窮世帯に対し、食料支援を通してニーズを把握し必要な支援につなぐ
- ・個別ケース会議や南区保護係及び新潟市パーソナルサポートセンターとの情報交換会

の開催

- ・社会的孤立世帯の実態把握と支援を検討する会議開催
- ・地域住民と地域の福祉事業所をつなぐ地域福祉ネットワーク会議の開催

※8050 問題：ひきこもりの長期化、高齢化から引き起こされる社会問題。主に 50 代前後のひきこもりの子どもを 80 代前後の親が養っている状態を指し、経済難からくる生活の困窮や当事者の社会的孤立、病気や介護といった問題によって親子共倒れになるリスクが指摘されている

○子育て支援事業

少子化の進む南区において、子どもや子育て世帯の居場所づくりを支援する住民の活動が活発となっている。子育て支援団体が活動の継続と拡充を図れるように支援することで、安心して子育てできる地域づくりを進める。

また、貧困の連鎖を断ち切るために、生活困窮状態にある子育て世帯のニーズを把握し、必要な支援を検討する。

- ・子どもの居場所づくり活動を行う団体に対し事業助成を行う。
- ・子育て支援団体同士のネットワークづくりを目的に、ゆるやかなネットワーク会議を開催する。
- ・生活困窮の子育て世帯の生活ニーズ把握のためのアンケート調査の実施と、支援策を検討するために検討会議を開催する。
- ・広報媒体を通じて、子育て支援団体の活動を周知する。

○地域包括ケア推進事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、生活支援体制の整備及び介護予防のしくみづくりを推進します。2025 年を迎えるにあたり、南区の高齢者を取巻く課題や社会資源を改めてとらえなおし、各圏域の 2 層 SC（生活支援コーディネーター）と情報を共有しながら協議体を開催し、必要な事業（サービス）等の立ち上げについての検討や地域住民と専門職や支援団体などとのネットワークの構築を図り、事業の推進力の強化を行います。

- ・第 1 層支え合いのしくみづくり会議では、改めて高齢者を取巻く課題や社会資源を把握し、今後 3 年間の生活支援体制の整備や介護予防のしくみづくりを検討します。
- ・生活支援や高齢者の通いの場の運営と課題について検討協議し、活動が区内に拡大するため必要な支援策を検討します。
- ・第 2 層 SC との連携により、高齢者の参加・活躍・介護予防の場づくりや担い手の育成、介護予防の推進につとめます。

事業名	(重点や拡充事業)	予算(千円)
事業の目的や内容等		
1. 区社協地域福祉推進活動事業【市社協基本目標1（孤立を見逃さない地域づくり）】		
地区社協活動交付金事業(南)		4,804
南区内12地区社協が、様々な関係機関・団体との協働により各種講座や多世代交流、見守り、助け合い活動等の地域福祉活動を円滑に推進することができるよう、事務費及び事業費の助成及び取り組みに対する必要な支援を行います。		
地域ふれあい助成事業(南)		79
コミュニティ協議会や自治会・町内会、自治会・町内会の班といった小地域において実施される住民主体の見守りや助け合い活動に対し、事業費の助成及び取り組みに対する必要な支援を行います。		
地域福祉活動計画推進事業(南)		120
第3期「地域福祉計画・地域福祉活動計画」(南区地域福祉アクションプラン)をもとに、住民参加による地域福祉活動の推進を図ります。また、支えあいのしくみづくりの視点を見据えた地域福祉活動が展開されるよう、地域関係機関と連携した取り組みの支援を行います。		
地域包括ケア推進事業(1層)(南) 【受託】	重点	916
地域包括ケアシステムの構築に向け、生活支援体制の整備及び介護予防のしくみづくりを推進します。また、地域の生活課題と社会資源の把握に努め、各圏域の2層SC(生活支援コーディネーター)と情報を共有しながら協議体を開催し、必要な事業(サービス)等の立ち上げについて検討や地域住民と専門職や支援団体などとのネットワークの構築を図り、事業の推進力の強化を行います。		
2. 区社協見守り・生活支援事業【市社協基本目標2（ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決）】		
おせち料理宅配事業(南)		1,856
歳末たすけあい募金配分金を財源として、75歳以上のひとり暮らし高齢者が心豊かにお正月を迎えるよう、年末時に民生委員や地区社協役員等による見守り活動と合わせておせち料理の宅配を行います。また、配達時に学生が作成したメッセージカードも合わせてお届けします。		
子育て支援事業(南)	重点・拡充	923
各関係機関や団体と連携し、子育て中の親子が気兼ねなく集まることができる子育てサロンや子育て支援団体への立ち上げ相談支援や助成支援を行います。また南区内の子育て支援グループ等と連携し研修会や交流会を開催します。さらに、生活困窮の子育て世帯のニーズの把握に努め、その解決のための支援策検討の会議を開催します。		
緊急情報キット配布事業(南)		31
高齢者や障がい者、健康上不安を抱えている方等に対し、緊急時に必要な情報を保管する専用キットを配布し、安心・安全の地域づくりを推進します。また、民生委員や自治会長・町内会長、コミュニティ協議会、地区社協等に対し事業周知を行うと共に、消防署への事業協力依頼も合わせて行います。		
サロン支援・助成事業(南)	【補助】	1,326

こどもから高齢者など誰でも気軽に参加できる地域の茶の間の運営や立ち上げの支援を行います。また、地域の茶の間を継続して運営できるよう、研修会の開催や助成金申請手続き等の支援を行います。		
コミュニティソーシャルワーク推進事業(南)【補助】	重点・拡充	602
<p>地域共生社会の実現に向け、様々な支援機関とのネットワークや地域資源を活用し、既存の制度では対応が難しい複合的な課題を抱えた世帯への支援を行います。また、個別の課題から地域課題としての地域づくりを関係機関・団体・地域住民と連携し進めます。</p> <p>ひきこもりの方への支援として、ひきこもり支援連絡会の開催、ひきこもり当事者や家族の居場所を開催します。</p> <p>生活困窮者世帯への支援として、食料相談支援を行うほか、関係機関との定期的なケース会議を開催します。</p> <p>社会的孤立世帯の実態の把握と支援策の検討を継続して行います。</p> <p>地域の課題を地域住民と福祉事業所の連携で解決できるよう、地域福祉ネットワーク会議を開催します。</p>		
心配ごと相談事業(南)		
<p>生活している中での心配ごとについて、適切な助言や専門機関を紹介するなど相談援助活動を行い、地域住民の福祉の向上を図ります。</p> <p>毎月第2、第4水曜日の12時から14時まで相談日を開設し、予約制で第4火曜日に司法書士による法律相談を実施します。</p>		
生活福祉資金貸付事業(南)【受託】		35
<p>低所得者や障がい者世帯に対し、資金貸付と必要な相談支援を行うことにより、世帯の自立・更生・社会参加を促します。</p> <p>また、就労支援等を行う生活困窮者自立支援制度事業受託事業所と連携することで、より効果的に相談者の自立の促進を図ります。</p> <p>さらに、コロナ禍の特例貸付制度により把握された生活困窮者に対し、相談支援を充実させます。</p>		
行旅人旅費貸付事業(南)		1
<p>紛失や盗難等で現金を携行できない行旅人で、他の支援策で救済が困難な人に対し新潟市内で1回限り500円を貸付け、目的地までの交通費の一部とします。</p>		
高校進学に向けた相談支援(南)		3
<p>高校進学のための各種奨学金等、経済的支援の一覧表の全市共通版を作成し、各中学校に周知及び配布し、児童・保護者に情報が行き届くようにします。また、奨学金等の申請にあたり、支援が必要な世帯とCSW（コミュニティソーシャルワーカー）がつながり、必要な個別支援を行います。</p>		
3. 区社協ボランティア・市民活動事業【市社協基本目標1（孤立を見逃さない地域づくり）】		
ボランティア・市民活動センター運営(南)【補助】		322
<p>ボランティア活動を安心して行うための保険登録の推進、ボランティア団体への助成金情報の発信や身近なボランティア活動に関する情報紙を発行、配布することによりボランティア活動に対する理解を深めます。</p>		

また定期的に運営委員会を開催し、事業の進捗や実施案の検討を行います。		
災害ボランティアセンター運営事業(南)【補助】		782
災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターを立ち上げ、且つ有効に機能させることができるように、関係機関で構成する検討委員会を定期的に開催し、設置訓練を行います。また、自主防災会や地域コミュニティ協議会等を対象とした防災学習出前講座の開催やセンター周知のリーフレットの配布等、地域との連携や防災への取り組みを推進します。		
ボランティア・市民活動育成事業(南)		317
区民がボランティア・市民活動に関心を寄せ、活動の裾野が広がることを目的として、きっかけづくり講座を開催します。		
子育て支援事業と連携しながら、子育て世帯を支えるボランティア育成と組織化支援を行います。		
福祉教育推進事業(南)		217
学校や企業などを対象に福祉教育を行い、地域福祉やボランティアの啓発普及に努めます。小中高校の福祉教育授業では、新たなプログラム（ユニバーサルデザイン）、講話や体験等により社会的包摂的な視点を伝えていきます。また、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）が捉えたひきこもり等の地域の課題について、ひきこもることへの理解や支援の方法を学ぶ講座や、社会参加の場としての活動受入れを学ぶ講座を福祉教育的な視点で実施するほか、ひきこもりの方の活動受入先として多様な団体への理解促進を図ります。		
4. 区社協広報・啓発活動事業【市社協基本目標3（信頼され、安定した法人経営）】		
地域福祉推進フォーラム事業(南)		452
地域福祉に対する関心と理解を深めることを目的として、住民、福祉団体、関係機関が協力し、「ひとつひととがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」を進めるためのフォーラムを開催します。包括ケア推進事業の支え合いのしくみづくりフォーラムと共同で実施することで、より多くの住民の関心を高めます。		
広報事業(南)		668
南区社協だよりを年3回発行し、区民に地域福祉やボランティア活動に関する情報を提供し、事業への理解と参加を促進します。また、ホームページに社協事業や地域での活動の様子などを掲載し、最新の情報発信に努めます。		
5. 区社協運営事業【市社協基本目標3（信頼され、安定した法人経営）】		
区社協運営事業(南)【補助】		5,278
南区社協の組織・財政の基盤強化に努めるとともに、併せて南区社協事業に対する理解促進に努めます。また、事業、運営がスムーズに進められるように諸経費の管理を行います。		
役職員研修事業(南)		205
役職員の資質向上を図るため、県民福祉大会や各種研修会への積極的な参加を推進します。		